

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めることがあります。
公告方法	電子公告 (https://ncsa.jp)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物の送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
(インターネット) (ウェブサイトURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問 (FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、お取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトで確認いただけます。

■ ウェブサイトのご案内

ウェブサイトで当社の事業活動、サービス案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。ぜひご活用ください。



<https://ncsa.jp>



NCS&A 株式会社



ユニバーサルデザイン (UD) の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。



NCS&A REPORT | 第60期 | 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日



2025年度社長賞

表彰理由

生成AIによる処理内容の可視化を実装したReverseNeo2.0のリリースに尽力し、ソリューションの価値向上と事業拡大の可能性をもたらすであろうと期待できる。

表彰理由

諦めない営業姿勢で数々の受注を獲得し、特に2025年度第1四半期には新規顧客の受注を獲得した。その絶え間ない努力を評価する。

**Grow on with Clients,
now and forever**



NCS&A

証券コード：9709



代表取締役社長
辻 隆博

新たな技術に果敢に挑戦しながら、
しなやかな発想で価値ある
ITサービスを提供し続ける企業へ
**Grow on with Clients,
now and forever**

CONTENTS

トップメッセージ	01
トピックス	06
連結財務諸表(要約)	09
会社の概況/株式の概況	10

株主の皆様には、平素より格別のお引き立てとご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2026年3月期中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)の業績と取組みの状況をご報告申し上げます。

2025年度は、中期経営計画(2024年度～2026年度)の2年目です。前年度に引き続き、自社ソリューションの機能強化等による既存事業の付加価値向上や、将来に向けた持続的な成長基盤を獲得するための新規事業の創出など、真に社会から必要とされる取組みを継続してまいります。また、社員が生き生き

と活躍できる環境の構築を実現するため、「健康経営」を実践するとともに、人への投資としてDE&Iを推進しております。会社は働き方を提供し、社員が働き方を選ぶよう改善を継続してまいります。

AIの進化、生成AIの利活用、クラウドコンピューティングの発展およびサイバーセキュリティの強化など、テクノロジーの急速な進化に伴い、ビジネスや社会のあり方が大きく変わる転換の年を迎えております。この変革の波に乗り、NCS&Aグループの継続した事業発展に向けて、進取果敢に経営に取り組んでまいります。

第60期中間期連結業績

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益
108億47百万円	14億32百万円	14億77百万円	9億91百万円
〔前年同期比 10億79百万円増加〕	〔前年同期比 5億40百万円増加〕	〔前年同期比 5億64百万円増加〕	〔前年同期比 4億22百万円増加〕

Q 当期(2026年3月期)中間連結会計期間の経営環境と取組みについて説明してください。

A 主力ソリューションの強化と「社内スタートアップ制度」による事業創出活動を積極的に推進しながら、従業員に対して「生き生きと活躍できる環境の構築」を継続して進めております。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかに回復し、企業の設備投資においても持ち直しの動きがみられました。しかしながら、米国の通商政策の影響や金融資本市場の変動など、景気の下振れリスクには注意が必要であり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業におきましては、経済産業省が警鐘を鳴らした

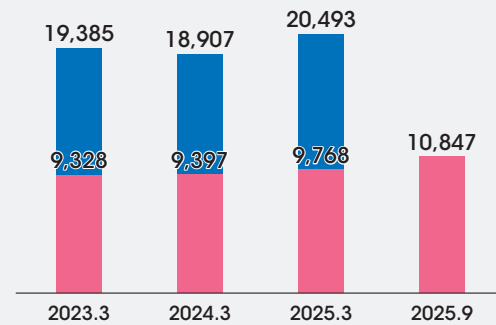
「2025年の崖」を背景に、古い基幹業務システムを刷新する動きが本格化しております。加えて、デジタル利用を前提とした制度の施行や労働力不足をきっかけに、大企業のみならず、中堅・中小企業においてもIT活用の重要性は高まりがみられます。これらのことから、幅広い産業分野・規模にわたって企業のIT投資は増加し、市場環境は堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループは「真に世の中から必要とされる会社」を目指して、成長に向けた積極的な投資として主力ソリューションの強化と「社内スタートアップ制度」(研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動)による事業創出活動を積極的に推進しております。

企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に寄与するために、マイグレーションサービスにおいて、共通するタスクの集約化を行う「マイグレーションセンター」化を進めております。この取組みにより、同時並行するプロジェクト数を拡大

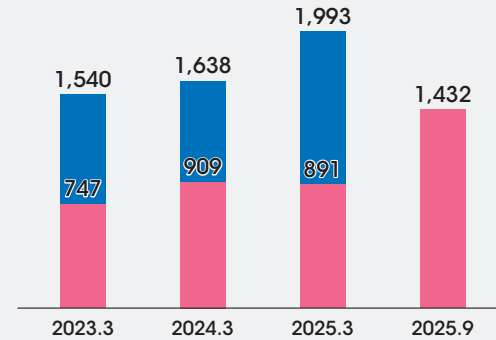
売上高

(百万円)



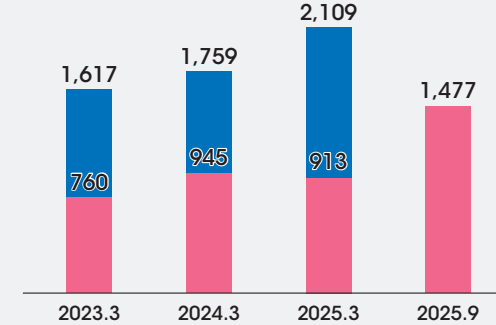
営業利益

(百万円)



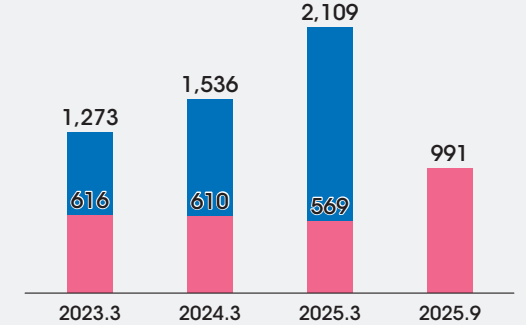
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(百万円)



■ 通期 ■ 中間期

し、より多くのお客様への貢献を目指しております。

さらに、新しい技術への挑戦として「社内スタートアップ制度」にて生成AIについての研究を行いました。この研究の一環として、システム可視化ソリューション「ReverseNeo(リバースネオ)」へ生成AIの組み込みを検討しました。その結果、処理フローや処理概要を自動生成する機能が実現し、2025年4月に新しいバージョンをリリースしました。また、従業員に対して「生き生きと活躍できる環境の構築」を継続して進めており、前年に引き続き2025年6月より平均5%の給与水準の引き上げを実施しました。



当期(2026年3月期)のこれまでの成果を聞かせてください。



マイグレーションサービスの保険会社向け大型案件が順調に進捗し、自治体向け給付金システム「The給付」のアライアンス先との協業拡大による導入自治体数の伸長とともに、官公庁向けシステム開発の受注が順調に推移いたしました。

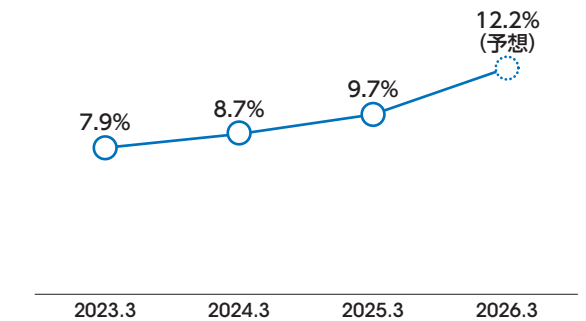
自社製品によるソリューションにつきましては、マイグレーションサービスの保険会社向け大型案件が順調に進捗いたしました。また、自治体向け給付金システム「The給付」においては、アライアンス先

との協業が拡大したことにより導入自治体数が伸長いたしました。

システムの設計・開発から導入後の運用・保守までをワンストップで提供するシステムインテグレーションサービスにつきましては、開発から保守フェーズへ移行する案件が増えたものの、生産管理システム「Factory-ONE 電脳工場」の導入・カスタマイズ案件や、ホテル業向けシステム開発などの売上が堅調に推移いたしました。

大手SIerからの受託開発につきましては、当社の得意分野にリソースを集中させることによる収益性の向上に取り組んでおります。当中間連結会計期間におきましては官公庁向けシステム開発の受注が順調に推移いたしました。

売上高営業利益率



Q 業績について説明してください。

A 前中間連結会計期間に比べ、増収増益となりました。

当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高は、前中間連結会計期間に比べ10億79百万円増収の108億47百万円となりました。利益面につきましては、利益率の高い自社製品によるソリューション及び高収益案件への注力を続けることにより、営業利益は前中間連結会計期間に比べ5億40百万円増加の14億32百万円、経常利益は前中間連結会計期間に比べ5億64百万円増加の14億77百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間連結会計期間に比べ4億22百万円増加の9億91百万円となりました。

2026年3月期 連結業績予想(前年同期比)

売上高	213億円 (3.9%増)
営業利益	26億円 (30.4%増)
経常利益	27.3億円 (29.4%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	18.5億円 (12.3%減)

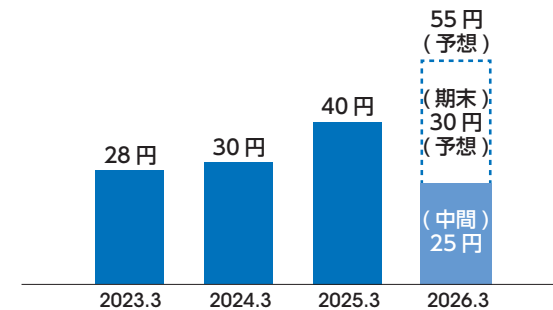
Q 通期の見通しについて聞かせてください。

A 売上高213億円、営業利益26億円を見込んでおります。

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年9月25日に上方修正をお知らせいたしました。売上高213億円(前年同期比3.9%増)、営業利益26億円(同30.4%増)、経常利益27億30百万円(同29.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益18億50百万円(同12.3%減)を見込んでおります。また、業績と併せて、配当予想につきましても中間配当を5円増配の25円に、期末配当を6円増配の30円に修正しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

配当金の推移



Topics 1

新製品「The SWAT」をリリース



2000年の介護保険制度開始とともにリリースしたSWATは、2007年に〈SWATplus〉へとメジャーバージョンアップを行い、長年に渡り、お客様にご愛顧いただいております。2025年10月、WEBバージョンの新製品〈The SWAT〉をリリースいたします。かゆいところに手が届くシステムを目指し、多数の新機能を搭載しています。

福祉用具レンタルシステム〈The SWAT〉は、介護保険サービス事業者の福祉用具に関する多彩な業務を支えるトータルシステムです。福祉用具ご利用者の情報を、もれなく管理。経営分析に役立つ情報が一目瞭然!業務効率を徹底的に考えました。

- オンプレミス環境で長期運用コストが安い
- カスタマイズ対応で各社の業務に沿った提案が可能
- 安心の保守対応(サポートセンター受付、電話・メール対応)



「国際福祉機器展 H.C.R.2025」出展

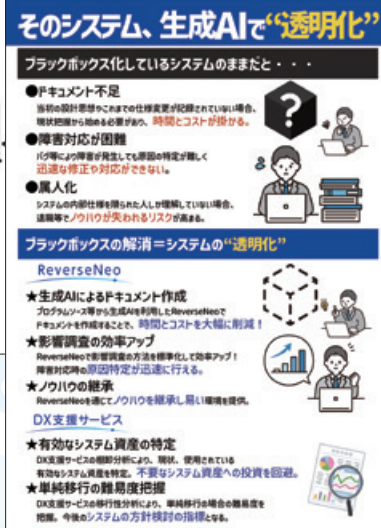
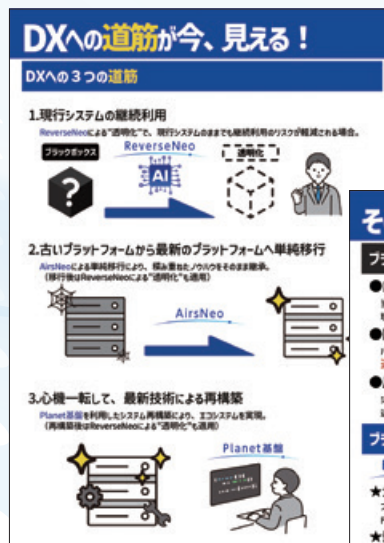
展示会イベントへの出展を強化!

当社はここ数年、より多くのお客様と繋がるために、東阪各地の様々な展示会イベントへの出展を強化しています。

今年度は、「お客様システムのDXの道筋を示す」というテーマで、最新の生成AI技術を活用した可視化ソリューション〈ReverseNeo〉を中心としたPlanetシリーズの様々なソリューションを展示しています。当社の様々なソリューションは、情報システム部門の課題解決を、「可視化」という切り口で支援し続けていきます。



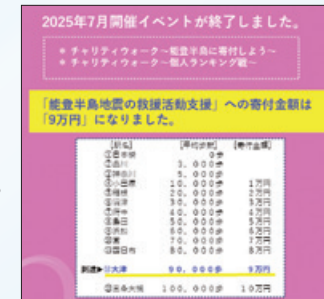
「第1回IT・情シスDXPO 東京'25 夏」出展



社内ウォーキングイベントを随時開催!

■チャリティウォーク(社会貢献活動)

当社の健康増進の取組みの一環として、ウォーキングイベントを随時開催しています。7月には、能登半島地震の救援活動支援として、チャリティウォークを行いました。アプリ内のイベント(バーチャルラリー)として、参加者全員で「東海道五十三次」を歩き、平均歩数で到達した駅に応じた金額(9万円)を寄付しました。健康経営の推進とともに、社会貢献活動につなげる取組みを行っています。



■秋のウォーキングイベント

残暑も落ち着きははじめ、気候の良い日が多くなる9月中旬から、秋のウォーキングイベントを開催しました。社員個人で競い合う「個人戦」だけでなく、事業部対抗の「チーム戦」を開催するなど、バラエティーに富んだイベントでコミュニケーションの活性化を図っています。

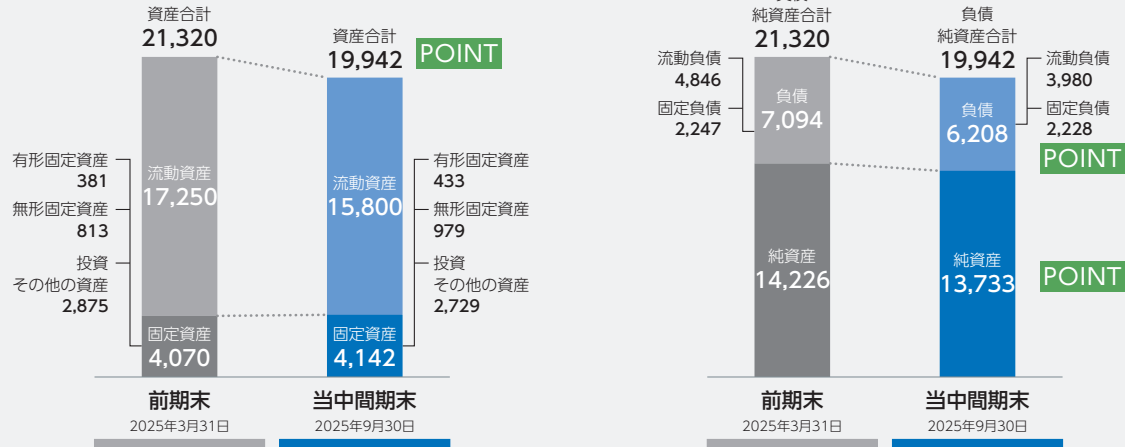
【開催期間】 9月13日(土) ▶ 10月14日(火)



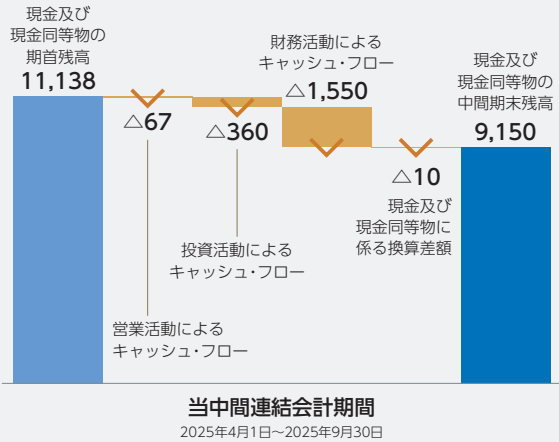
連結財務諸表(要約)

Consolidated Financial Statements

中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)



中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円) POINT



POINT

資産 売上債権・ソフトウェア等の増加に対し、現預金・繰延税金資産等の減少の結果、総資産は13億77百万円減少しました。

負債 契約負債の増加に対し、賞与引当金・未払法人税等・買掛金等の減少の結果、負債は8億85百万円減少しました。

純資産 当期純利益の計上・配当金の支払・自己株式の取得等を行った結果、純資産は4億92百万円減少しました。

キャッシュ・フロー 税金等調整前中間純利益の計上に対し、売上債権の増加、賞与の支給、法人税等の支払、配当金の支払、自己株式の取得等の結果、現金及び現金同等物は19億88百万円減少しました。

会社の概況/株式の概況

Corporate Profile / Stock Data

会社概要 (2025年9月30日現在)

商号 NCS&A株式会社(英文表記:NCS&A CO., LTD.)
設立 1966年9月21日
代表者 代表取締役社長 辻 隆博
資本金 37億7,510万円
従業員数 1,249名(連結)
事業所 ■本社 〒530-6112 大阪市北区中之島3丁目3番23号
■難波オフィス 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目2番3号
■新大阪オフィス 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目5番41号
■尼崎オフィス 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1丁目2番6号
■東京本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目2番3号
■汐留オフィス 〒105-7309 東京都港区東新橋1丁目9番1号
■大井町オフィス 〒140-0014 東京都品川区大井1丁目28番1号
■名古屋支社 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号
子会社 ■エブリ株式会社
■NCSサポート&サービス株式会社
■恩愛軟件(上海)有限公司

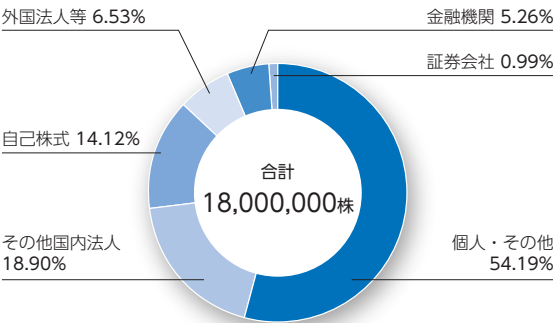
役員一覧 (2025年9月30日現在)

取締役
代表取締役会長 松木 謙吾
代表取締役社長 辻 隆博
社外取締役 團 博己
社外取締役 後藤 祐子
社外取締役 榮藤 稔
執行役員
執行役員常務 小林 裕明
執行役員常務 山本 貴子
執行役員常務 森本 豊
執行役員常務 碓野 政弘
上席執行役員 武田 秀樹
監査役
監査役 越智 みさき
社外監査役 大西 祐子
社外監査役 藤田 雄功

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 18,000,000株
株主数 3,997名

所有者別株式数分布



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ZEN	1,851	11.97
丸山 幸男	947	6.13
明治安田生命保険相互会社	530	3.43
NCS&A従業員持株会	467	3.02
アイ・システム株式会社	403	2.61
梶川 融	399	2.59
株式会社クリナム	398	2.58
日本金銭機械株式会社	381	2.46
山田 欣吾	350	2.27
高岸 俊二	335	2.17

(注)当社は自己株式2,542千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
持株比率は自己株式を控除して計算しております。